

松尾鉱山資料館だより

MATSUO MINE MUSEUM



松尾鉱山資料館 TEL 78-2598

松尾鉱山から角界へ

◆松尾鉱山出身の「ヤマっこ力士」

単純明解なルールで勇壮さを競い合う相撲は松尾鉱山でも人気が高く、山神祭の奉納相撲などで古くから鉱山をにぎわせていました。時代は流れ、松尾鉱山相撲部として活動するようになると明治神宮大会や国民体育大会で県代表選手として出場するようになり、優秀な成績を収め続けて鉱山相撲部の名を全国に広めました。その立役者の中には、大相撲の力士となった大海竹郎たいかいいたけろう関こと佐藤竹郎はなひかりきつおや花光節夫関こと遠藤節夫とみすけがいました。

遠藤節夫は、採鉱課に勤めていた遠藤富助とみすけの三男として昭和15年に松尾鉱山で生まれました。恵まれた体格で松尾鉱山中、松尾鉱山高(定時制)と相撲部に所属。県大会定時制の部優勝をきっかけに大相撲からスカウトを受け、3年生で高校を中退し、33年5月に花籠

部屋に入門して四股名を花光節夫としました。同年7月には入門2カ月目にして名古屋場所を序の口で8戦全勝優勝し、三段目として出場した34年11月の九州場所を8戦全勝優勝。40年9月の秋場所を12勝3敗の好成績で十両優勝し、新入幕を果たしました。

◆大金星も殊勲賞逃す

43年5月の夏場所、西前頭三枚目の花光関は取組三日目に横綱の柏戸関をすくい投げで破る大金星を挙げました。この場所を7勝8敗と負け越してしまったため、惜しくも殊勲賞の受賞は逃してしまったものの、45年9月の秋場所を最後に引退するまでに通算75場所(幕内25場所)を務め、左四つからの寄りという地味な相撲ながらも鉱山の人たちはもとより、県民を大いに沸かせ続けました。



178センチ、130キロ。化粧まわし姿の花光節夫関

図書館だより

L I B R A R Y



図書館 TEL 75-1700

松尾コミュニティセンター図書室 TEL 76-3235

荒屋コミュニティセンター図書室 TEL 72-2505

◆令和3年度読書マラソンの結果

昨年の7月1日から12月26日にかけて行った「読書マラソン」の結果を発表します。

今年度の参加者数は90人で、貸出総数は9,748冊。昨年度の参加人数71人、貸出総数8,751冊を大きく上回りました。

部門(参加者数)	優勝者・貸出冊数
幼児読み聞かせの部(21)	藤村結南ちゃん(下町二区)・457冊
児童1・2年の部(24)	藤村紗南さん(下町二区)・553冊
児童3・4年の部(18)	古山彩葉さん(松川)・206冊
児童5・6年の部(6)	中塚紗良さん(両沼)・365冊
大人の部(21)	中塚紗江さん(両沼)・346冊 遠藤佑輔さん(五百森)・346冊

※読書マラソン結果の詳細は、図書館に掲示しています。

◆新着ピックアップ

『続・東北の名城を歩く 北東北編』

編集/飯村 均・室野 秀文、出版社/吉川弘文館
『東北の名城を歩く』(平成29年出版)の続編。青森・岩手・秋田から60の城を選び、図版を交えて詳しく解説しています。本市からは平館城が登場します。※『南東北編』も所蔵しています。併せて読んでみてください。



『解きたくなる数学』

著/佐藤 雅彦・大島 遼・廣瀬 隼也、出版社/岩崎書店
NHK教育テレビの「ピタゴラスイッチ」制作メンバーが作った23問の数学問題集。数式が分からなくても論理的思考で解くことができ、中学生から楽しめます。

